



南の目指す生涯学習社会

～みんなが元気に みんなが幸せに～

令和2年度 優良PTA文部科学大臣表彰 受賞おめでとうございます！ 大仙市立大川西根小学校PTA

今年度の優良PTA文部科学大臣表彰を、大川西根小学校PTAの皆様が受賞されました。公立学校としては県内唯一「パイプオルガン」を有し、全校音楽活動やオーケストラ演奏等をPTAが核となって取り組んでいることが認められました。特徴的な活動としては、公民館祭「ウエストフェスタ」、PTAが支える「楽器まつり演奏会」があり、子どもたちの充実した体験活動が行われております。学校・地域・家庭が“連携・協働”する素晴らしい取組ですので、今後も継続されることを願っております。



秋田県では、大曲農業高校、大川西根小学校、豊岩中学校の各PTAが受賞しました。

令和2年度 視聴覚教育・情報教育功労者表彰 受賞おめでとうございます！ 小野 勝氏 (Video Library Team of UGO代表)

羽後町のボランティア団体「Video Library Team of UGO」の代表の小野 勝氏は、町内の「西馬音内盆踊り」などの地域行事を住民目線で動画作品として記録し、町立図書館内にビデオコーナーを創設して管理を行っておられます。動画作品は各種発表会等で高く評価され、広く活用されていることから受賞が決定いたしました。「道の駅 うご 端縫いの郷」においても地元羽後町の紹介動画の上映を行っているなど、地域に密着した素晴らしい活動をされておられます。今後のご活躍をお祈りしております。



アドバイザーコラム：学校・家庭・地域の連携・協働 11

コミスク導入の動き加速！

社会教育アドバイザー 小笠原 重夫

「紡ぐ」108号の本コラムで、今年度から湯沢市と羽後町の全小・中学校が「コミュニティ・スクール(以下、CS)」に指定されたことをお知らせしましたが、ここに来て南管内でCS導入の動きが加速しています。

横手市は、令和3年度から市内の2地区4校でCSを先行実施し、令和4年度から市内全小・中学校でスタートすることを明らかにしています。

仙北市は、CSを令和3年度中に市内全小学校、令和4年度中に市内全中学校で導入することを目標としています。

東成瀬村は、導入時期こそ明言してはいないものの、導入するという方向性は打ち出しています。

この中で横手市と仙北市は、既に導入のための準備を着々と進めています。両市は、CSと一体的に推進することが求められる「地域学校協働活動」の連絡・調整の要となる「地域学校協働活動

推進員(地域コーディネーター)」を委嘱したり、教員や保護者、地域住民対象の「キックオフ研修会」を開催したりしています。

順調に進めば、今後両市の小・中学校は、「学校運営協議会(以下、運営協議会)委員」の人選に着手することになるでしょう。

CSは、「地域とともにある学校」を目指し、運営協議会を設置した学校を教育委員会が指定する制度ですが、CS制度を生かすも殺すも準備期間での小・中学校や教育委員会の周知・啓発の取組がとても重要だと思います。

CSを実効のある制度にするためには、その準備期間において「そもそもなぜCS制度を取り入れるのか?」の「そもそも論」を教員と保護者、地域住民等が共有する営みが欠かせません。

その時カギを握るのが、学校のトップである校長先生の「通訳力」です。